

各議員の発言持ち時間は、1人一律60分以内です。

会派代表質問

- 3ページ……田矢 修介（県都クラブ）
 4ページ……山崎 正行（市民クラブ）、長谷川幸子（日本共産党津市議団）
 5ページ……大野 寛（津和会）、岩脇 圭一（一津会）
 6ページ……加藤美江子（公明党議員団）

個人質問

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 6ページ……藤本 智子 | 10ページ……倉田 寛次、和田甲子雄 |
| 7ページ……青山 昇武、伊藤 康雄 | 11ページ……岡村 武、八太 正年 |
| 8ページ……平岡 益生、田中 千福 | 12ページ……豊田 光治、川口 和雄 |
| 9ページ……杉谷 育生、小林 貴虎 | 13ページ……渡辺 晃一 |

会派の構成

- 県都クラブ……田中 千福、西山 みえ、岡 幸男、川崎 正次、田矢 修介、前田 勝彦、中村 勝春
 市民クラブ……福田 慶一、小林 貴虎、山崎 正行、倉田 寛次、辻 美津子、村田 彰久
 一津会……渡辺 晃一、岩脇 圭一、桂 三発、川瀬 利夫、岡本 知順、田中 勝博
 津和会……伊藤 康雄、小菅 雅司、杉谷 育生、大野 寛、田村 宗博
 日本共産党津市議団……長谷川幸子、藤本 智子、和田甲子雄、豊田 光治
 公明党議員団……青山 昇武、加藤美江子、平岡 益生、横山 敦子
 無会派……岡村 武、八太 正年、川口 和雄



た や しゅう すけ
田矢 修介

けん と く ら ぶ
県都クラブ

市民の生命を守る救急医療について

問 救急医療は医の原点であり全ての市民が生命保持の最終的な拠り所とする根元的な医療。

救急医療体制の更なる充実により、いつでも、どこでも、誰にでも適切な救急医療が提供されることを願い質問する。

・受け入れ困難事由となっている医師・看護師などの人材不足解消策は。

・休日夜間応急診療所について救急車が行ける施設の整備を。

答 医師・看護師などの人材不足解消策として、三重大学と市内の開業医にも協力を仰ぎ、二次救急医療機関への医師派遣を行っており、平成24年度実績で、延405名の医師を確保した。

また、市内にある2カ所の看護師養成所への支援により、両校の卒業生のうち約80%が市内の医療機関に就職している。

応急診療所については、機能を充実させた恒久施設としての整備を図るため、津市応急診療所整備検討会を設立し、検討を始めたところである。救急車を受け入れるような初期救急医療機関にするかどうかについては、同検討会において、どのような検査や処置の機能を持たせるのか、また、二次救急輪番病院との連携の在り方を総合的に検討した上で、決めていく。

●その他の質疑・質問●

○津市行財政改革後期実施計画について、自主財源の確保、事務の効率化など一層の行財政改革を推進するとの強い決意を踏まえ、

- ・外郭団体への関与の在り方はどの様に見直されるのか
- ・時間外勤務手当・特殊勤務手当等の削減を
- ・収納率・回収率向上へ真面目な納税者への気概を示せ など



▲機能強化の上、恒久施設化を目指す休日夜間応急診療所